

令和元年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

**【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】**

令和2年3月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

## 1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勘次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成7年3月20日
5. 開校 平成7年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-12 (TEL) 053-452-2121
7. 課程 文化・教養専門課程／衛生専門課程
8. 学校の沿革
  - 平成7年3月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
  - 平成7年4月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
  - 平成17年4月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更  
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
  - 平成20年3月 学校法人爽青会 認可
  - 平成21年4月 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーに校名変更
  - 平成26年3月 設置4学科で職業実践専門課程認定
  - 平成27年4月 イラストレーション科、広告・写真・Web デザイン科で3年制課程開始
  - 平成28年4月 衛生専門課程 美容師科開設
  - 令和2年4月 ルネサンス デザイン・美容専門学校に校名変更予定

## 9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝く学校になる)

## 10. 教育目標

日本人ならではの徳性を活かし、新旧の美意識と接客から学び、日本流・新デザインを世界に問う  
重点項目

- ・さて、今のままでいいのかな?!の追及
- ・働き方改革への対応
- ・ブランディング再構築
- ・事務局の再編
- ・高校との信頼関係構築
- ・【D・B 共通】2020年度新体制に向けた徹底挑戦
- ・職場環境の改善・強化
- ・【Design 系】イラスト系人材の強化及び本来の力量の早期発揮
- ・【Beauty 系】ビューティーアカデミーの訴求力強化

## 11. 設置学科

- イラストレーション科 (昼3年 男女 定員40名)
- 広告・写真・Web デザイン科 (昼3年 男女 定員40名)
- ブライダル・トータルビューティー科 (昼2年 男女 定員40名)
- 美容師科 (昼2年 男女 定員30名)

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数 （令和2年2月1日現在） 159名

13. 教職員数（令和2年2月1日現在） 17名

14. 学校建物面積 2115 m<sup>2</sup>

## 2 自己点検・自己評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 教務部 前田健一
4. 教務部 竹田侑里
5. 教務部 大城陽功
6. 教務部 杉浦英樹
7. 事務局 林千洋

### 監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 理事長代理 中野良太
3. 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー事務局 鈴木博昭

### 2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 令和2年1月7日 自己点検・評価委員会 第1回会議
- 令和2年1月16日 自己点検・評価委員会 第2回会議
- 令和2年1月21日 自己点検・評価委員会 内部監査
- 令和2年1月28日 設置者への報告
- 令和2年2月13日 学校関係者評価委員会
- 令和2年3月7日 学校法人爽青会理事会報告
- 令和2年3月9日 第1回講師会にて共有
- 平成2年3月31日 ホームページにて外部への公開

## 3 学校関係者評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 鳥居 春仁 常葉大学浜松基礎教育センター長
2. 上野 弘道 公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長
3. 安武 伸朗 常葉大学造形学部長/キャリアセンター長
4. 平井 伸幸 株式会社レボル代表取締役社長
5. 坂元 祥彦 一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事

### 2) 開催日・場所

- 令和2年2月13日 学校法人爽青会 本部館 203 教室にて開催

#### 4 評価一覧

評価項目 ≪ 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1 ≫		自己点検 自己評価	学校関係者 評価	
1 ・ 目 標 教 育 理 念	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	3.8
	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学 校 運 営	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	3.2
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教 育 活 動	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	4
	8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	4
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3.4
	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	4
	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3.2
	19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	4
	21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価
4 学 修 成 果	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	4
	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	5 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	6 ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	7 学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	4
	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
5 学 生 支 援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	3 保護者と適切に連携しているか	4	4
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	4
	5 卒業生への支援体制はあるか	3	4
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	10 学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教 育 環 境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3
	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	3
	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	4 防災に対する体制は整備されているか	4	4
	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学 生 の 受 入 れ 募 集	1 学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	2 履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	9 学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	10 志願者状況、定員充足率はどうか	2	2.4
質 保 証 教 育 の テ マ 部	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	3 文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	3	3.2
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	4
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3.2
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検 自己評価	学校関係者 評価
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
1 域 貢 献 ・ 社 会 地 区	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
1 交 流 国 際	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	—
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	—
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	—
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

## 5 評価の理由とコメント

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育 理念・ 目標	1	4	理念・目的・育成人材像は毎年検討・更新され、教職員は原点確認研修資料、学生は学生必携にて周知している。	4	解説授業があることで、呈示と認識への取り組みがわかった（安武） 理解させるために特別に講義をされているという点が素晴らしい（上野）
	2	4	学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、またインターンシップ等における職員の企業訪問やイベント視察を通じて、業界の動向・ニーズを調査している。	4	高校生、社会のニーズをよくとらえている（鳥居）
	3	4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会で得た意見を基に、教育運営計画を立てシラバスを作成している。
	4	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	デザイン・ビューティー系の職種として実践教育を展開する学科を4つに分類して運営している。
	5	4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	オープンキャンパスや保護者説明会、入学式後の説明会、オリエンテーションにて複数回説明の場を設定し周知している。
				3.8	SEO対策、トリプルメディアの活用、動画等、うまく統合されるとさらに良い（上野）
				4	生徒、学生、保護者にとって、具体的な姿（実益）が伝わるのが大切、重要であり、課題かと思う（安武） 保護者の理解を充分考えられていることが今どきの適切な方法と思う（上野）

### ① 課題

本校の特色が明確に伝わるためのキャッチコピーを新たに決めていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

2019年度のブランディングの再構築を踏まえ、外部コピーライターの協力のもと、学校・学科の特色が相手に伝わるためのキャッチコピーを定める。

### ③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	必要に応じて学則変更を適宜実施し、専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った運営をしている。	4	
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	就業規則内で定める運営組織や意思決定機能を校務分掌に落とし込み、適切に機能させている。	4	
3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務は経理規定で、教務に関しては主として教務部会の形で、意思決定システムを整備している。	4	
4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画策定は理事会・評議員会にて適切に行われている。	4	
5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	毎年反省・見直しを実施し、学校長の承認を経て運営方針を策定している。	4	明快な計画書である（安武）

2 学 校 運 営	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	人事制度マニュアルにて整備している。	4	
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年2回の講師会全体会にて意思統一を図り、分科会にて学科ごと情報共有の場を設けている。毎授業ごと授業報告書にてリアルタイムな共有を図っている。	4	
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	苦情等に対する対応マニュアルが作成されており、対応を記録するノートで事例を共有できるよう取り組みが行われている。	4	
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報を公式ホームページにて公開している。	4	
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている。	4	
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月に1回の経営会議内において、教育の現状把握・分析とともに学校運営の仕組みそのものについても見直しを図っている。	4	
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	予防措置及び是正措置規定は作成されているが、対応を行った内容、および結果に関する記録が徹底されていない。	3.2	記録の共有はPDCAにとって大切かと考える（安武） これからの仕組み化に期待（上野）
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	相談受付方法は学生必携に明記し、オリエンテーションにて周知している。また、ホームページに問い合わせフォームを設置し、学外からの相談窓口も設置している。	4	

① 課題

学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応内容および結果の記録が徹底されていない。

② 今後の改善方策

対応内容・結果の記録を徹底しつつ、学科会議・教務部会等での共有を行う。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
3 教育 活動	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	左記内容を2段階で明確にしている。学科の教育達成レベルは教育目標である「学科の使命」で。各授業の到達レベルと学習時間は学生必携にて明記し、学生達が常に確認できる環境も作られている。	4	
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	教育課程編成委員会や企業訪問を通じてキャリア教育や職業教育への工夫が実施されている。今年度はSkypeを用いた遠隔授業も実施。	4	
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	本校の教育理念を基に年度毎の振り返りを議論し、学科の実施方針を策定している。本校は、理念を軸とし時代のニーズと業界の動向の3つの視点で学科方針を決定している。	4	計画書の品質が、目的と手段の適切さにおいて、大変素晴らしい(安武)
	4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	年2回行われる教育課程編成委員会での意見聴取を始め、インターンシップや企業訪問、各研修で得た情報を年度毎、早ければ「期」毎に作成・見直しを行っている。	4	
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	カリキュラム内での位置づけや指導体制は、毎年度改善と見直しが行われている。今後更なる合格率の向上を目的に、協会認定講師派遣を依頼している。	4	
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	教育目標と学習習得ステージを基に、専門講義科目、専門実習科目、一般科目に分類し、各学科、各専攻毎にバランスがとれたカリキュラムを編成している。	4	
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	Can-Doを意識し、シラバスに家庭での学習時間を明記し、学生の意欲向上、自主性の向上を図っている。	4	
	8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	実践的な職業教育として、本校ではインターンシップ、企業コラボレーション、外部イベント、各種研修(国内外)を学生レベルと時期を考え実施している。	4	
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	年度始めのオリエンテーションにて講義要項の記載のある学生必携を配布し、各科目始業時に講師より、その詳細についての説明を実施している。	4	
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	授業名、担当者、使用学科が分かる様、タイムテーブルにて一覧表にし、講師会資料等で共有している。また、デスクネットを通し、常に管理している。	4	
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	各期ごとに行われている授業アンケートを通じて、授業内容・指導方法・使用教材などを評価・検証している。	4	
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学生必携にて、成績評価、単位認定および進級規程等が明確に記載され周知されている。	4	

13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編委員やインターンシップ受け入れ企業への訪問や実習評価表への評価を受け、その後の学生指導やカリキュラムの編成に活かしている。	4	
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	学生を対象とした授業アンケートは実施している。しかし教員相互による授業見学、研究会は実施できていない為、今後設けていく。	3.4	教員相互の研修・研究は、テーマが多いため、年間を通した研修テーマが重要。ディスカッションがあれば充分か（安武）自ら考え動く組織になっていかれると思う。より現場の意見を反映させていけるような仕組み（参画）につなげられると良い（上野）
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則や講師契約書に個人情報の保護に関する規程を設け、またデータ等はアクセス制限を設け個人情報保護に配慮している。	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	講師の意見を授業報告書から、学生の声を授業アンケート等から集め、定期的開催する教務部会や学科会議、講師会で学習環境等の確認を確認・検証している。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	確保している。その要件を備えている事を確認するため、職務経歴書や各種研修の参加、学生からの授業アンケートからのコメントで把握している。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	教職員の評価は、年2回「行動評価」として記録している。所属、役職、担当によるコンピテンシーも事前に説明しているが、その記録がなく、職務記述書との関連性に基づきより詳細に評価をしていく必要がある。	3.2	記録は重要である（安武）改善計画に期待している（上野）
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	業界団体の研修会、人材育成のためのセミナー等、指導力向上に向けた取り組みを行っている。	4	
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	4	能力開発のための研修は実施されている。また、研修後の報告書および回覧による研修内容の共有、および成果判断も実施している。	4	
21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	教育連携企業、団体加入、講演会などを通して、業界を牽引する人物との接点が増加。そこからの人材紹介・確保へ繋がりが出来ている。	4	

① 課題

授業評価が学生からの授業アンケート回収、および教務課長による一部授業見学のための現状である。

② 今後の改善方策

教務課長、各学科長のチームにより授業見学を実施し、授業評価およびフィードバックを実施し記録として残していく。

③ 特記事項

特になし

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
4 学 修 成 果	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	成績表は各科目のA～D評価に加え、授業を横断した能力別マトリクス評価を実施し、多角的に評価している。また、修了、卒業時には、学生の進路と合致した審査員を招き、担当者と共に能力の判定を実施している。	4	
	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	在校生は、インターンシップや企業コラボレーション、ボランティア等の課外活動にて把握している。また卒業生は、職員による企業訪問活動、SNS等を通じ把握に取り組んでいる。	4	
	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	科目ごとにシラバスにて記述されている。到達目標が段階的に項目分けされており、評価範囲が理解できるように記述されている。内容について、講師と職員間で意見交換し、年度毎に見直している。	4	
	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	学生への「授業アンケート」「学校満足度調査」や教育課程編成委員会にて、教職員やカリキュラムの評価を行っている。評価方法は、講師会にて書面化し、非常勤を含め全職員で共有出来ている。また、授業報告書をもとに必要に応じた対面での話し合いを講師間でやっている。	4	
	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績評価項目は、専門性においては、業界で必要とされる最も基本となる項目を厳選し、社会性においては、ビジネス能力や対外活動記録を用いることで、各人の技能と人間力を共に示すことが出来ている。	4	
	6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	教育面、進路指導の面ともに、講師会や教育課程編成委員会などで、数値データをまとめた資料を以て報告書としている。また企業への聞き取りを踏まえ、学生に設定すべき目的を反映させた教育運営計画を立てている。	4	
	7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	明確にしている。授業目的や最終目標は講師会にて書面提示し共有検証も図っている。またインターンシップでは、学生の評価項目を事前に提示し、終了後に評価を受けている。	4	
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	各学科、年に数回卒業生講話を実施し、その際に出た実情やヒアリングをもとに、在学中に学ぶべきことを精査している。また、企業訪問を行い、卒業生に対する企業側の意見を招集し、教育活動の改善を図っている。	4	学校としてのフォローがよくできている（鳥居）

① 課題

卒業生の状況把握や相互コミュニケーションの仕組みはあるが、アクセス数は少ない。

② 今後の改善方策

SNS等の利用者数を増やすため、校友会組織の協力を得つつ、卒業制作展における活躍のPR場所を提供するなど、リアルな体験をしてもらうことで母校への興味・関心をより深めてもらう。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
5 学生 支援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携にて就職活動の支援体制について説明し、就職セミナーやインターンシップなどの支援行事を実施している。また、就職状況に関しては定期的に会議を開催し、情報共有を図っている。	4	一般常識試験の位置づけは、専門学校であるが故に、ややデリケートは位置づけかと思った。教育目標・人物像などの結びつけを明快にしてあると良いかと感じた(安武)
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任との個別相談や就職担当との就職相談、面接指導などに加え、学校カウンセラーによる相談も行っている。	4	
	3	保護者と適切に連携しているか	4	授業参観、個別面談を実施し、日頃の学習状況への理解、共有を図っている。また、就職に関しては、就職保護者会を通じ、学校と家庭との連携を密にし、ミスマッチのない就職指導をしている。	4	
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	数は少ないが社会人の事情に対応した夜間の個別相談や、年齢差など特有の悩みなどへの個別対応を行っている。また入学後も、社会人経験が有利になるよう考慮したキャリア指導を行っている。	4	
	5	卒業生への支援体制はあるか	4	卒業生加入の校友会組織、卒業生向けFacebook、LINEなどにより卒業セミナー等の告知、卒業生対象の学校求人紹介などを実施している。	4	リカレント教育の一環として、専門職に関連したブラッシュアップ教育の重要性は高まるように思う。商工会議所やデザイン専門団体等との連携によるセミナー等、需要があるように思う。キーパーソンになる教員が必要(安武)
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	学生が利用できるPC等学内施設、ネットワーク環境やカウンセリングサービスの活用の為の説明をオリエンテーションで案内している。	4	
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優遇制度により学生を顕彰するとともに、学生課により奨学金の案内や教育ローン、学費サポートプランなど学生、保護者ともに案内している。また高等教育の修学支援新制度にも認定されている。	4	
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を年度当初に適切に実施している。メンタルケアに関しては、学生相談室を学外に設け、対応を行っている。	4	LGBTへの理解や配慮が、今後は特にデザイン系で重要になるかと思う(安武)
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	企業とのコラボレーションによる商品開発、デザイン提案や自治体、各種団体との地域発展に向けての取り組みを行っている。	4	数多くの活動が素晴らしい(上野)
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	定期的に学生との個別面談を実施し、学生の生活環境を聞き取り、必要な助言を担任や学科長等から伝えている。クラス運営報告書や会議で問題学生を共有し、早い段階で対策を練っている。	4	
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会等への参加や提携授業を実施し、高校でのキャリア教育との連携、協力を図っている。	4	

① 課題

卒業時に校友会等の案内の徹底、卒業生との連絡手段共有は出来ているが、活用しきれていない。

② 今後の改善方針

卒業生リストのデータ化と管理を徹底し、定期的にコンテンツを提供していく。特に再就職や卒業教育などの情報提供を強化する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
6 教育 環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応でき るよう整備されているか	3	各教室ごとに教室管理・火元管理責任者 を定め、各教室の適切な維持管理と既存 設備の保守点検を実施しているが、修繕 が必要な箇所が複数見受けられる。	3	学生からのコメント（要望・苦情など） があればより適切な環境維持が可能か （安武） 重要な点と思うので早期改善 を期待する（上野）
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検され ているか。	3	安全確保のための定期点検・修繕は不定 期に行われているが、一部の備品に対し て定期的な備品チェックが行われて居ら ず改善が必要。	3	安全管理の観点から重要と感じた（安 武） 重要な点と思うので早期改善を期 待する（上野）
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練 や安全管理のための避難訓練を実施してい るか	4	地震を想定した避難訓練は実施されてい る。加えて2016年度よりシェイクアウト 訓練を実施し、有事の際の対応力を強化 している。	4	
	4	防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練を毎年8 月に実施。静岡県の防災方針改定に伴 い、防災マニュアルを2018年度に作成 し、運用している。また、防災委員を各 クラスに任命し、消火ならびに救命訓練 を行っている。	4	
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外 研修等について十分な教育体制を整備してい るか	4	インターンシップや国内研修、海外授業 など、学外で行われる教育活動の前には 直前セミナー等を実施し、安全な実習が できるよう指導している。	4	海外授業が素晴らしい（鳥居）

① 課題

安全確保に関わる学校施設は定期的に管理・点検されているが、老朽化・不具合等、備品の定期的なチェックが実施されていない。

② 今後の改善方策

年末に行われた学内備品のチェックにより、修繕が必要な箇所に関しては修理を3月までに実施する。

また今後も毎年2回(7月・2月)定期的な備品チェックを実施していく。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
7 学生 の 受 入 れ 募 集	1	4	募集要項にて入学までの流れを明示。AO・推薦・一般入試ともに、入学願書の提出を必須とし、その他出願資料と合わせて適切に管理している。	4	
	2	4	受験時に入学願書、その他出願書類を提出させている。またそれら個人情報は入学後は学生カルテに入れて、卒業後はカギのかかる部屋で適切に管理している。	4	
	3	4	募集要項を作成し、入学資格及び受験方法を記載し、適切に周知を図っている。	4	
	4	4	募集要項内に学費や補助活動費等の一覧及び、納入期限等を明示し、受験者及び保護者に卒業までに必要な学費が正しく理解されるよう配慮している。	4	
	5	4	学校案内を作成し、教育概要を伝えつつ、就職内定速報等を作成し、教育成果の発信に努めている。	4	
	6	4	学生必携において、学校から発行される証明書の種類や手続き方法などを記載し、オリエンテーション等で説明している。	4	
	7	4	入学試験において、履修上、就職上支障となる志願者の事情を確認し、履修に不具合がないように受け入れている。	4	
	8	4	オープンキャンパス時、入学直後の保護者説明会、在学中も年1～2回の保護者説明会にて、学校の組織等を説明している。	4	
	9	4	学校生活に必要な金額を計算し、請求している。補助活動費には明細を添付し、使途不明金がないようになっている。	4	
	10	2	定員及び目標数に届いていない。	2.4	志願書の学力（偏差値）層別の動向に対する戦略が重要か。率で評価すると「2」がやむを得ないと考えた（安武）理事長の教育への想いが、社会に信頼を作り、よい循環を作られると思う（上野）

① 課題

入学者数の確保が課題である。

② 今後の改善方策

学校のブランディングを実施したが、学科ごとに募集対策をしていく必要がある。

また、中・長期計画として小中学生イベントを計画。また、校内ガイダンスなどの直接接点以外の高校生への情報発信を図るため、対象を絞った上でSEO対策・キーワード検索への対応を行う。

③ 特記事項

2020年4月に、教育内容が端的に分かりやすい名称へと校名変更を実施。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
8 教育の 内部 質 保 証 シ ス テ ム	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内に機密保護管理規定を設け、個人情報保護に努めている。	4	
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	教員数、教室数、学生管理等、専修学校設置基準に準拠した運営を実施している。	4	
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	3	学内で保管すべき文書及びデータについて、(a64)文書管理規程及び文書管理台帳を作成し、試験的な運用を開始している。	3.2	大変誠実な取り組みであると感じた（安武） 適切に対応されている（上野）
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	自己点検非担当者による内部監査を実施し、自己点検・評価の問題点等の改善を抽出している。	4	
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	研修修了者による監査を実施し、責任者に対して結果の報告を行う体制を整えている。	4	
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査により、指摘事項や改善点は明確になっている。	4	
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	内部監査、学校関係者評価の結果をもとに改善に取り組んでいるが、その実施記録はない。	3.2	適切に対応されている（上野）
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式サイト内、学校情報ページにて過去のものも含めて公開している。	4	

① 課題

- a.文書管理規程、文書管理リストは、今年より試験導入を行っているが、まだ確定状態ではない。
- b.内部監査、学校関係者評価を受けての改善記録がない。

② 今後の改善方策

- a.試行段階である文書管理規程等の仕組みを確定させる。
- b.改善をいつ、どのように行ったのか分かる報告書を作成し、記録として残していく。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	第三者による会計監査が適切に行われている。	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務諸表は公式webサイトにて公開、更新されている。	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	短期的には、資金面、収入支出面、銀行との信頼関係は安定しているが、ここ数年の学生募集状況からみて、中長期の財政基盤が安定しているとは言えない。	3	解決に向けた具体策が早期に出されることを期待する（上野）
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している	4	

① 課題

会計監査、財務情報公開は適切になされているが、中長期的に見ると、財務基盤の見通しが明るいとは言えない。

② 今後の改善方策

今年度はルネサンスブランドの構築を実施し、競合・市場調査をもとにした学科構成・広報戦略を含む中長期経営計画を立案。  
2020年4月からは教育内容が伝わりやすい名称に変更を実施。

③ 特記事項

小・中学生の提携授業、職業教育のための総合学習の受入れ等、低学年から本校に興味を持たせるための講座にも引き続き力を入れ、本校認知度をUPさせ入学者数を増やし、長期的に安定した在籍数を確保する。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
10 社会 貢献・ 地域 貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地元中高生の職業体験の受け入れや企業コラボレーションを通し、地元企業との取り組みを実現している。また、卒業生からの依頼を通じた取り組みもある。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	全学科にて、町おこしにもつながる地域・社会貢献と、人のために学んだ技術を使うという教育的観点の双方で、実になる活動を紹介、支援している。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	地域の学校からの教育訓練依頼を積極的に受け入れ、地元中高生向け職業理解教育に貢献できている。またデザイン・イラストコンペを通じて、若者の美術教育に貢献している。	4	

① 課題

社会貢献・地域貢献に対し、全ての学科において「企業コラボレーション」としての取り組みは年間30件超実施しているが、実施内容の偏りや固定化の傾向にある。時代や地域のニーズに合わせる事も検討したい。

② 今後の改善方策

教育施設の見学会や体験授業、商業施設でのものづくり体験などは継続的に実施するが、厳選しつつより高いレベルを目指し学生自らが企業・団体へ提案出来る力を養う。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
11 国際 交流	1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	-		-	
	2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	-		-	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	-		-	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	海外授業において、現地職業訓練学校との共同デザイン授業や学生の作品に対する評価を受けている。また現地学校での授業履修なども行っている。	4	

① 課題

海外授業では、社会情勢の変化に伴う予期せぬトラブルが発生するリスクが存在し得る。

② 今後の改善方策

安全・安心に海外授業を実施出来る様、外務省の海外安全情報や現地旅行代理店からの情報収集をより強化する。

③ 特記事項

特になし。